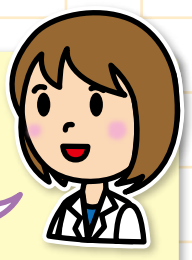




新たな基準値はどのように決められたの？

新たな基準値では、「一般食品」、乳児だけが食べる「乳児用食品」、子どもの摂取量が多い「牛乳」、全ての人が摂取する「飲料水」と区分を分けて設定されました。表を見ながら説明しましょう。



新たな基準値設定の考え方

(出典)厚生労働省HPより

年間の線量の上限值1ミリシーベルトから、飲料水に割り当てる線量(約0.1ミリシーベルト)を引き、残りの線量を食品(乳児用食品、牛乳を含む)に割り当てます。



| 年齢区分 | 性別 | 限度値(ベクレル/kg) |
|---------|-----|--------------|
| 1歳未満 | 男女 | 460 |
| 1歳～6歳 | 男 | 310 |
| | 女 | 320 |
| 7歳～12歳 | 男 | 190 |
| | 女 | 210 |
| 13歳～18歳 | 男 | 120 |
| | 女 | 150 |
| 19歳以上 | 男 | 130 |
| | 女 | 160 |
| 妊婦 | 女 | 160 |
| | 最小値 | 120 |

各年齢層ごとに、通常の食生活を送れば、年間線量の上限值を下回る水準に設定。

100ベクレル/kgに基準値を設定

★すべての年齢区分の限度値のうち最も小さい値(120)を下回る数値に設定